

芹口駐在区自主防災会

地域一体の防災訓練

6月9日、草部芹口駐在区自主防災会（会長・江藤明徳さん）主催の防災訓練が行われ、90人以上の地域住民が参加しました。自主防災会では「自分の命は自分で守る」とこととし、今回の訓練は、防災啓発活動と訓練による地域住民の防災意識向上を目的に行われました。

避難を呼びかける訓練放送が流れると、参加者は会場に次々と集まり、避難を確認していました。その後、阿蘇広域消防野尻草部分駐所によるAED講習、消火器の取扱訓練が行われました。訓練終了後に、女性委員が炊き出しで作ったおにぎりを参加者全員でいただきました。

▼避難所の受付訓練のようす



◀▼AED訓練、心臓マッサージ訓練のようす



高森ふるさと学

高森ふるさと学は「高森町に誇りを持ち、自己の生き方を考え、表現する力の育成」を目標にした、小・中学校で行われる総合学習のことです。

高森中央小学校

命を考える子どもと大人の集会

6月8日、高森中央小学校で授業参観と「命を考える子どもと大人の集会」が行われました。

2時限目の授業を「命について考える授業」とし、命の大切さについて考えました。その

後、体育館で集会が開かれ、児童の体験・意見発表に続き、保護者と児童たちとのメッセージ交換や全校児童による合唱が行われました。

参加者は、児童たちのがんばりをたたえ、暖かい拍手を送っていました。



▲児童たちは、手話を交えた合唱で学習の成果を披露していました

高森湧水トンネル公園「七夕まつり」

まつりを支える骨組み作り

7月4日～7日に開催される湧水トンネル公園の七夕まつり。トンネル中央に飾られるさまざまな形の骨組みは、すべて手作業で作られています。

骨組みを作ったのは、六笑会（代表・橋本重幸さん（高森・旭通））のみなさん。五月から竹を切り始め、ひと月で200個以上の骨組みを作りました。代表の橋本さんは、「町の行事に貢献したかった。よくできた骨組みをみんなで喜ぶのが楽しみ」とやりがいを語ります。七夕飾りは8月末まで湧水トンネル公園内に飾られます。



▲毎年、七夕飾りの骨組みを作る六笑会のみなさん

阿蘇カルデラスーパーマラソン

初夏の阿蘇外輪山を激走

6月1日、阿蘇外輪山を走る「阿蘇カルデラスーパーマラソン」が開かれ、全国各地から1,775人の市民ランナーが参加しました。

100キロコースの部では、午前5時に南阿蘇村を出発した選手が高森町へ。各所で交通指導員の誘導や体育指導委員、婦人会員たちの応援や接待を受けながら元気よく走り抜けました。



▲演奏で選手を励ます RJK カルデラウインドアンサンブルのみなさん

高森町文化協会総会

「幅・津留遺跡」の文化講演会

6月21日、観光交流センターで行われ、平成24年度の事業報告と平成25年度の事業計画について審議が行われ、承認されました。

続いて、熊本県教育総務局の馬場正弘参事による講演が行われ、幅・津留遺跡の調査結果や今後の見通しについて地図や表を交えた説明がありました。



▲調査結果を語る馬場さん

はなしのぶコンサート

やさしい音色が会場を包む



6月23日、高森町民体育館で恒例の「はなしのぶコンサート」が開催され、約1,000人が来場しました。

会場にはハナシノブが飾られ、尚絅高校ギターマンドリン部が「旅愁」や「涙そうそう」などを演奏。高森中央小学校4年生も「はじめての一步」を合唱して音楽祭を盛り上げました。

高校総体で高森高校陸上部が大活躍 南九州大会へ出場果たす



▲南九州大会へ向け決意を新たにする坂井君（写真前段左）と佐藤君（同右）

5月31日～6月3日にかけて、熊本市で開催された「熊本県高校総合体育大会」において、高森高校の陸上部が奮闘。坂井勇人君（高森中出身）が円盤投げで6位、佐藤大輔君（蘇陽中出身）がハンマー投げで5位と優秀な成績をあげ、南九州地区予選大会への出場を勝ち取りました。

6月10日、役場を表敬訪問した選手を田上町議会議長が迎え、激励しました。

第66回全九州高等学校陸上競技選手権大会

南九州地区予選大会の結果

6月15日、16日に熊本市で南九州地区予選大会が行われました。

氏名	出場種目	順位	記録
坂井勇人	円盤投げ予選	20位	32m10
佐藤大輔	ハンマー投げ予選	16位	39m36

色見熊野座神社 夏の大祭

秋の豊作と住民の健康を願って

5月26日、色見熊野座神社で夏の大祭が行われました。これは、秋の豊作と地区に住む人の健康を願う200年以上の歴史を持つ祭りです。

神事が行われたあと、地元の若者たちが2基の神輿をかつぎ、保護者に連れられた6人の稚児たちも並んで色見地区の5集落をねり歩きました。



▲祭りの始まりを待つ稚児たち



▲和気あいあいとちまきを作る女性部のみなさん

JA阿蘇女性部 料理教室

旧暦の端午の節句を祝う

6月11日、色見総合センターでJA阿蘇女性部主催の料理教室があり、女性部員ら15人が参加しました。

旧暦の5月5日（端午の節句）を祝ってちまきを作る風習にちなみ、講師の住吉りえ子さん（色見・西丁）の指導のもと、ちまきやいきなり団子、まぜご飯などを作りました。



▲おじいちゃんたちと園児と一緒に飾りを作り上げました

高森保育園 七夕飾りづくり

おじいちゃん、おばあちゃんと 楽しく交流

6月21日、高森保育園で年長児24人が、おじいちゃん、おばあちゃんたちと一緒に七夕飾りを作りました。

園児と色紙をはさみで切ったり、のりで貼っていくと、おじいちゃんたちも童心に返ったようで、にぎやかになっていきました。

飾りができあがると、短冊に思い思いの願いごとを書き、次々と笹に飾り付けていきました。完成した七夕飾りは観光交流センターに運び、飾られました。

阿蘇グリーンストック ファームステイ事業

修学旅行で農業体験を満喫

6月4日と5日、神戸市立星和台中学校の生徒40人が、高森町でファームステイ（農家民泊）をしました。

今回、色見地区を中心に11世帯が生徒たちを受け入れました。生徒たちは、5日の早朝から畑や牧場へ案内され、土を耕したり牛へえさをやるなど農業体験を楽しんでいました。

高森地区世話人の古田文哉さん（色見・戸狩）は、「今後も多くの人に体験してほしい。受け入れ農家をもっと増やし、高森町を活気づけたい」と語ります。

詳しいお問い合わせは

Tel 090 (5026) 0807 まで。

▼受け入れ先の農家と生徒たちの顔合わせがありました



▲それぞれの農家で農業体験を楽しみました



▲鳥獣対策を語る井上さん



▲電気柵の張り方を説明しました

鳥獣被害対策担い手育成加速化事業 地域ぐるみの鳥獣対策を

6月18日、草部総合センターで井上雅央氏（近畿中国四国農業研究センター専門員）による講演会が行われ、町内の畜産・稲作農家69人が出席しました。

講演では、鳥獣（サル、シカ、イノシシ）被害は、地域で協力し、電気柵等を最大限に活用することで抑えられると強調。

鳥獣についての質疑応答の後、井上さんによる簡易電気柵の説明が行われ、参加者は熱心に聞き入っていました。